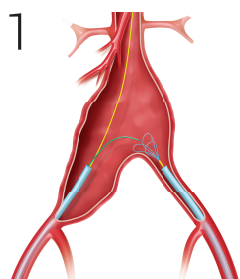


ゴア® エクスcluder® IBE

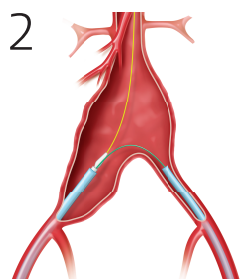
GORE® EXCLUDER®

Iliac Branch Endoprosthesis

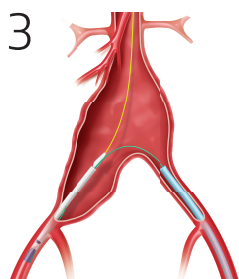
留置ステップ (IBEを対側に用いた場合)



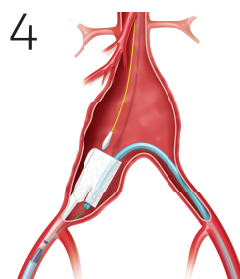
IBE 留置側よりゴア®ドライシール フレックス イントロデューサシース (以下ドライシールフレックスシース) の挿入後、軟質ガイドワイヤーとスネアを用いてプルスルーを作成する。



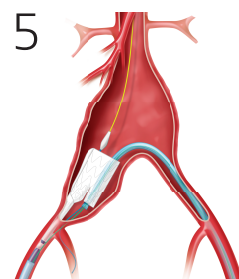
IBE 留置側より、2本のガイドワイヤーに沿ってイリアック・ブランチ・コンポーネント (以下IBC) を進める。



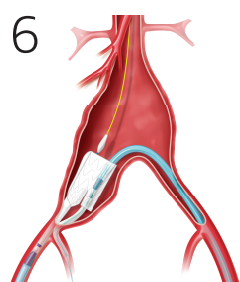
IBE 留置側のシースを引き下げ、インターナルイリアック・ゲート部を示すX線不透過マーカーリングが内腸骨動脈の起始部より中枢に位置するように調整する。



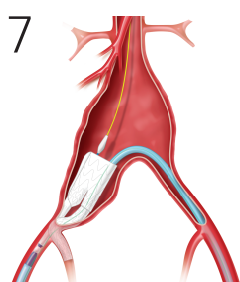
プロキシマルディプロイメントノブ (写真③参照) を引き、IBC 中枢側を展開する。反対側から12 Fr×45 cmのドライシールフレックスシースをインターナルイリアック・ゲート内まで進める。



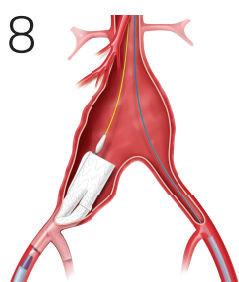
内腸骨動脈へガイドワイヤーをカニュレーションする。中枢側のみ展開したIBCは左右90度以内のローテーションおよび内腸骨動脈へのカニュレーションを容易にするために末梢側へ移動させることができる。



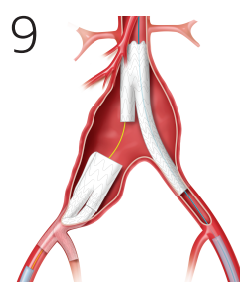
インターナルイリアック・コンポーネント (以下IIC) を進め、IIC 中枢側のマーカーとIBCのロングマーカーの位置を合わせる (オーバーラップ)。



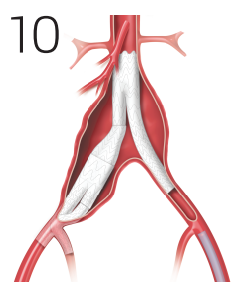
IICの展開を行い、接合部および内腸骨動脈へのランディング部分のバルーン圧着を行う。その後スルーワイヤーを抜去する。



ディスタルディプロイメントノブ (写真④参照) を引き、未展開のIBC同側末梢脚部 (外腸骨動脈側部) を展開する。



12 Fr×45 cmドライシールフレックスシースからトランクイブシラテラル・レッグ (以下メインボディー) 留置に必要なシース (16 Frもしくは18 Fr) に交換する。メインボディーを展開する。



23 mmもしくは27 mmのコントララテラル・レッグを用いて、メインボディーとIBCを連結 (ブリッジング) する。

STAGED DEPLOYMENT



[写真①]



リムーバブルガイドワイヤーチューブ



[写真②]



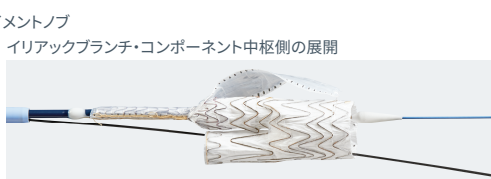
プレカニュレーションされたインターナルイリアック・ゲート

アオルティックワイヤー

スルーワイヤー



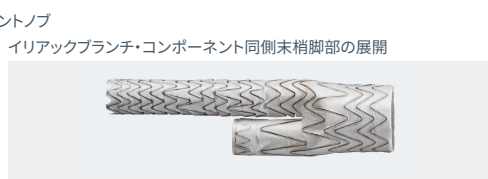
[写真③]



プロキシマルディプロイメントノブ
イリアック・ブランチ・コンポーネント 中枢側の展開



[写真④]



ディスタルディプロイメントノブ
イリアック・ブランチ・コンポーネント 同側末梢脚部の展開

Together, improving life



SIZING GUIDE

トランクイブシラテラル・レッグ(メインボディー)						
中低側対象血管内径 (mm)	ステントグラフト 大動脈側直径 (mm)	末梢側対象血管内径 (mm)	ステントグラフト 末梢側直径 (mm)	ステントグラフト長 (cm)	推奨シース (Fr)	
19-21	23	10-11/12-13.5	12/14.5	12/14/16/18	16	
22-23	26	10-11/12-13.5	12/14.5	12/14/16/18	16	
24-26	28.5	10-11/12-13.5	12/14.5	12/14/16/18	18	
27-29	31	12-13.5	14.5	13/15/17	18	
30-32	35	12-13.5	14.5	14/16/18	18	

イリアックブランチ・コンポーネント				
外腸骨動脈対象血管内径 (mm)	ステントグラフト末梢側直径 (mm)	ステントグラフト長 (cm)	推奨シース (Fr)	
6.5-9	10	10	16	
10-11	12	10	16	
12-13.5	14.5	10	16	

インターナルイリアック・コンポーネント				
内腸骨動脈対象血管内径 (mm)	ステントグラフト末梢側直径 (mm)	ステントグラフト長 (cm)	推奨シース (Fr x cm)	
6.5-9	10	7	12 x 45	
10-11	12	7	12 x 45	
12-13.5	14.5	7	12 x 45	

コントララテラル・レッグ* (ブリッジング用コントララテラル・レッグ)		
総腸骨動脈対象血管内径 (mm)	ステントグラフト末梢側直径 (mm)	ステントグラフト長 (cm)
17-21.5	23	10/12/14
> 21.5	27	10/12/14

IBE 治療側に必要な長さ -IBEをC3トランクイブシラテラル・レッグの対側に用いた場合

トランクイブシラテラル・レッグ (メインボディー) ステントグラフト直径 (mm)	低位腎動脈から 内腸骨動脈分岐部までの長さ (cm)
23, 26, 28.5	16.5
31	17.5
35	18.5

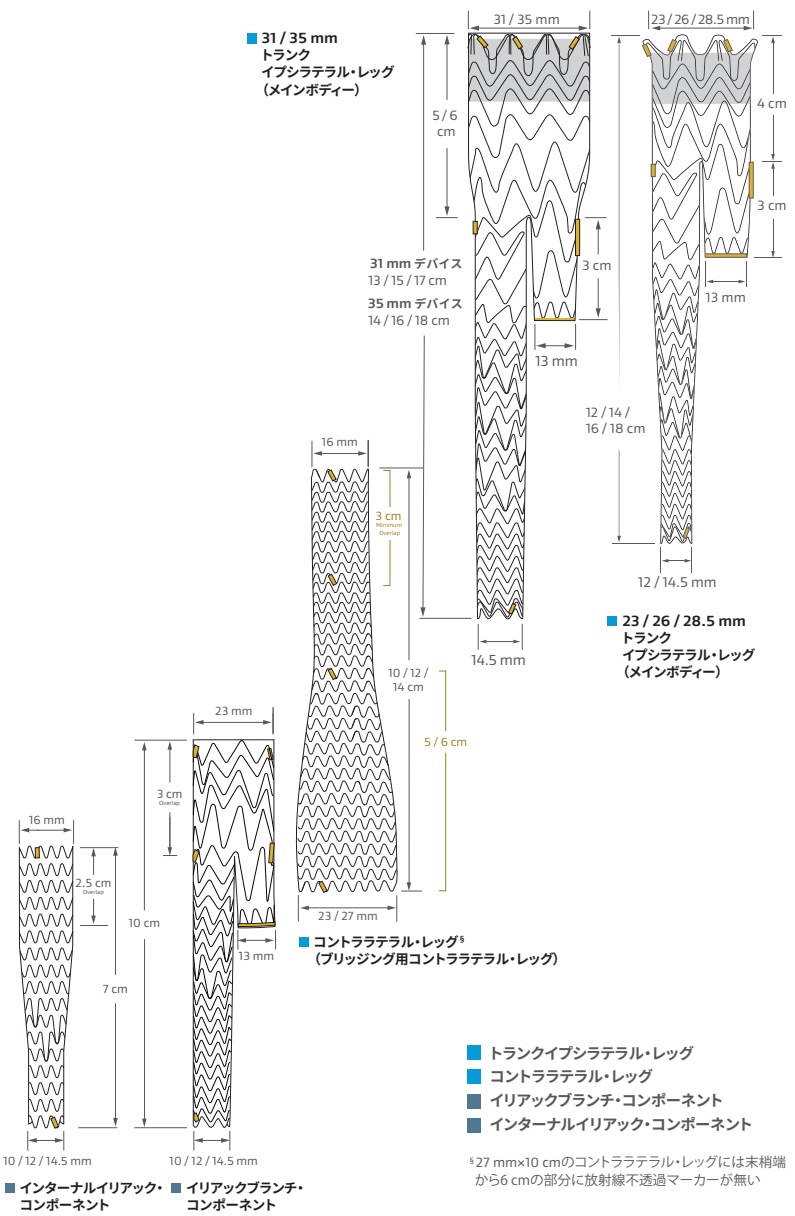
IBE 治療側に必要な長さ -IBEをC3トランクイブシラテラル・レッグの同側に用いた場合

メインボディー ステントグラフト直径 (mm)	低位腎動脈から 内腸骨動脈分岐部までの長さ (cm) 23 mmコントララテラル・レッグ使用時 ¹	低位腎動脈から 内腸骨動脈分岐部までの長さ (cm) 27 mmコントララテラル・レッグ使用時 ^{1*}
23, 26, 28.5	19.5	20.5
31	20.5	21.5
35	21.5	22.5

*コントララテラル・レッグをイリアック・エクステンダーとして使用する際にはゴア®エクスクルーダー®のメジャメント・デバイスセレクションフォームを参照すること。
¹末梢側5 cmのテーパ形状部がメインボディーとの接合部分に位置しないこと。
^{1*}末梢側6 cmのテーパ形状部がメインボディーとの接合部分に位置しないこと。

Aortic Accessories

ゴア® ドライシール フレックス イントロデューサシース		
品番	規格 (Fr x cm)	
DSFI233	12 x 33	
DSFI245	12 x 45	
DSFI433	14 x 33	
DSFI633	16 x 33	
DSFI833	18 x 33	



ゴア® MOB バルーンカテーテル						
品番	拡張レンジ (mm)	バルーン長 ¹ (cm)	カテーテルシャフト有効長 (cm)	適合シース径 (Fr)	適合ワイヤー径 (Inch)	推奨する拡張溶液の使用量 バルーン拡張径 拡張用液量 (mL)
MOB37	10-37	4	90	10 以上	0.035	10 2
						20 7
						30 16
						37* 35

注意:
・使用の際には添付文書(電子化された添付文書)を参照すること。
・表の数値は推奨値であるため、バルーンの拡張はX線透視下で確認しながら行うこと。
・バルーンを血管径よりも大きく拡張させないこと。
・最大バルーン拡張径(37 mm)を超えて拡張させないこと。
・最大バルーン拡張径(37 mm)に対して拡張溶液量48 mLを超えないこと。

¹公称値
*最大バルーン拡張径

販売名: エクスクルーダー® Y字型ステントグラフトシステム 承認番号: 21900BZY00011000
販売名: ゴア®ドライシール フレックス イントロデューサシース 承認番号: 22800BZX00461000
販売名: ゴア®MOBバルーンカテーテル 承認番号: 23000BZX00170000
ゴア、GORE、Together, improving life、エクスクルーダー、IBE、EXCLUDER、MOBおよび記載のデザイン(ロゴ)は、W. L. Gore & Associates の商標です。
© 2022 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 22446601-JA MAY 2022

製造元 W. L. Gore & Associates, Inc.
製造販売元 日本ゴア合同会社
〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 gore.co.jp

